

# 仕事のなやみ、 みんなの力で 解決できる



## あなたも集会に参加しませんか

### ●ひどい実態を何とかしたい

私たちは、一昨年、昨年と集会をおこない、1000人、1400人で社会にアピールしてきました。違法な職場の実態を「しょうがない」と思っていた青年が、集会でたまたか仲間がいることを知り、一歩ふみだし、残業代を支払わせたり、有給休暇を実現しています。

### ●人間らしく働きたい

そんなあたりまえの願いがかなわないのは、一人ひとりの責任ではありません。いま若者の2人に1人が派遣やバイトなど、非正規雇用です。

大企業は正社員を減らし非正社員に切り替え、青年を「使い捨て」にしています。自民党政権は企業の利益のために「働くルール」をこわしています。こうした企業や政治の姿勢を変えれば、人間らしく働ける社会をつくることは可能です。

職場も社会も、一人ひとりが動けば必ずかわる——みなさん、ぜひ集会に参加してください。私たちの未来へをぎりひらく集会として成功させるために力をあわせましょう。

### ●こんなにちがう！働くルール

	日本	ドイツ	フランス
残業規制	上限なし	1日2時間 年間60時間	年180時間
有給休暇	20日	5～6週間	
失業保険	12ヶ月	32ヶ月	42ヶ月
パート賃金	正社員の半分	「正社員と同一」がルール	

2005年1月現在

▶集会ホームページ  
[www.dylj.or.jp/site/special/work/051113\\_meeting](http://www.dylj.or.jp/site/special/work/051113_meeting)

## ▶ 全国で サービス残業代を支払わせた

2004年の1年間で1437社から  
17万人分226億円

## ▶ 雇用をふやし、働くルールを守らせよう 政府や自治体も動かしてきた

東京・港区では、区議会へ要請をして、独自の若者雇用支援制度を実現。現在104の地方議会が「若者の雇用をふやせ」という意見書を採択している。



▲2004/12/13 厚生労働省へ要請行動



### バイトの雇い止めを撤回！ 「うごけばかわる」を実感

学費のためにバイトしていた「餃子の王将」で一方向的に解雇。くやしくて、学校の先生から聞いた青年ユニオンに相談しました。「アルバイトだって権利がある。会社と交渉しよう」とはげまされ、団体交渉をすると、すぐに「雇い止めは間違いでした。申し訳ありません」と解雇が撤回されました。



### 一人でなやむ必要はない 残業代300万円払わせた

老舗の和菓子屋で働いていますが、正月も益も働きづめ。風邪で休んだ分も給料カット。労働組合に相談して分会を結成し、組合員4人の残業代300万円、有休20日分、パートの厚生年金などの加入をかちとりました。会社で働くみんなの利益につながったことがホントにうれしい。

## 青年大集会2005 スローガン

- 長時間労働、「サービス残業」をなくし、若者の雇用をふやせ
- 政府は、若者の雇用拡大のための予算を抜本的にふやせ
- 医療、福祉、教育など、国民の暮らしに必要な雇用をふやせ
- 高校生、大学生の就職難の解決、就職活動のルールの確立、職業訓練の充実を
- フリーター、派遣、請負などの非正規と正規の「均等待遇」の実現を！

